

ロータリアンの自覚と 喜びを味わう場として

□ 第3回ガバナー座談会

地区大会は 華やかな催しから 手づくり
実質面に重点をおいた きめのこまかい運営が望ましい
大勢の人が企画し 大勢の人が参加するのが地区大会である

□ 出席者

| | | |
|--------------------|-------|-------|
| 第 255 地区ガバナー | 齋藤 隆 | (日 立) |
| 第 256 地区ガバナー | 渡辺 巖一 | (新 潟) |
| 第 257 地区ガバナー | 福島 良治 | (深 谷) |
| 第 259 地区ガバナー | 津田 進 | (川崎北) |
| 第 262 地区ガバナー | 坂本 豊美 | (静岡東) |
| 司会 友・顧問 パストガバナー | 小原 美紀 | (銚 子) |

順不同

□ 手づくり地区大会のよさ

小原 きょうは「地区大会」と「地区諮問委員会」を、テーマに取りあげてみたいと存じます。地区大会は、すでにお済みになった地区もありますし、これからの地区もありますが、ガバナーのお立場から、日頃、考えておられる地区大会のあり方に対する意見、抱負、あるいは改革すべき点について話しあっていただきましょう。そのあと、パストガバナーで構成されている地区諮問委員会のあり方についても、言及できればとおもいます。

では、まず地区大会のあり方について、齋藤さんから口火を切ってくださいませんか。

齋藤 私の地区は、4月20～21日に日立市の小平会館で開きますが、日程がちょうど他の4地区と重なるということで、ちょっとした苦情もあるようです。計画内容は質的には、イベントの専門会社にまかせれば、非常にスマートな

ものになりますが、私どもは10年ほど前に手づくりの大会をやった経験もあり、今回もそれをめざしています。手づくり大会のよさは、経費が専門会社に依頼するより安くあがるのは当然として、みんなが苦勞をともし、ああしよう、こうしよう話しあう、そのことで、新人もベテランも融けあってコミュニケーションを深めていくことです。そこで、喜ばれる大会にするには、どうしたらよいかを、合言葉にしています。

渡辺 私どもの地区大会は、これまで会長・幹事会を含め3日間でした。今年度は2日間になりましたところ、たいへん皆さんに喜ばれました。これは、むしろ遅きに失した感じがします。私たちも無駄な費用をかけない方針で、40台の若い行動派の人たちが中心となり企画運営にあたったため、現代的でしかも画期的な大会になったと思います。それだけに「見つけよう 奉仕の新生面」という観点から、光と音と映像を駆使して、従来の形式にとらわれないものになりました。

たとえば、舞台の上に、実際には役割をもたないR I関係の役員や元役員が、きら星のごとく並ぶ、あの形式をやめました。それから、国旗を並べるのもやめました。20～30カ国の旗を立てて体裁をととのえるのは、意味がありません。ロータリーのある159カ国全部の旗を出すなら、これはまたそれなりに意義があります。全体会議や討論のための9時間は2日間でちゃんと消化しました。芸能タレントによる余興は



一切なしにし、新潟大学の管弦楽団の演奏を、余興としてではなく行事進行の中に組み入れてやりました。よかったのは、テレビでよくやるパネル討論会を取り入れたことです。さらに記念講演は私自身がやらされました。日本学術会議会員の資格でやりました。R I会長代理のカバラスさんは、極めてユニークでモダンな大会だと絶賛して下さいました。

福島 今回は、勉強すべきことは勉強し、楽しむべきことは楽しもう、という考えから、地区大会というより、ロータリアンの自覚と喜びを味わう場として、参加を呼びかけました。はじめて私の地区でやりましたのは「新会員部門」です。会員経験3年未満の方々を対象とした企画ですが、調べると、ロータリーを理解しないまま退会するのは3年未満の場合が突出して多いからです。その第1日目の部門別協議会のあとは、疲れをいやす意味から、財団学生によるコンサートをもってきました。これが非常にすばらしかったのですが、奨学生もはじめてこういう場に参加して、ロータリーへの感謝の気持ちをもったとおもいます。

また従来は、分区ごとにしていくクラブ紹介を、ロータリーの建て前とそれぞれに自覚を促す必要から、一つひとついねいにクラブを紹介しました。それに全体的には、3年前からシンプルに、ということやってきておりますが2日目のランチョンパーティーでは、参加者全員に食事を用意しました。登録料は会員8,000円、家族5,000円でした。ランチョンのあとは

女性歌手によるアトラクションを楽しみましたが、お呼びした来賓は、代理なら遠慮したかったのですが、すべてご本人が見えたのはうれしいことでした。予算面もうまくいき、まあ、大いに勉強もし楽しみもしたということです。

□ 勉強会とするかお祭りにするか

津田 大勢の人が企画し、大勢の人が参加するのが地区大会だとおもいます。私たちが2日間の日程で終了しました。第1日が午前中に会長・幹事会、午後は本会議、そして第2日は、午前中はなしで午後は本会議というスケジュールでした。これでR Iに報告する本会議とグループ討論会、それに講演で12時間20分を取ることができたのです。この中で、シンポジウムを2回にわけ、2日間にわたり第1部、第2部で3時間半をあてました。「ロータリーの伝承と創造」をテーマにしましたが、パネリストはすべて、地区内のパストガバナー6人と、ガバナーノミニと私の計8人が第1部、第2部を分担してつとめました。とくに、第2日目の午後の第2部のシンポジウムでは、来賓としてお見えの向笠R I元会長に、飛び入りで加わっていただき、たいへん視野の広い内容となり、またR Iの現状もよくわかるといった、おもわぬ収穫がございました。

坂本 私たちも終わりました。大会方針と記念講演のほかは、ほとんどのことをホストクラブにおまかせしたのですが問題は会場によって計画が変わるということです。部門別協議会がや



小原 美紀君

れる広さであればいいのですが、そうでない場合は変形的なものにならざるをえません。さきほど9時間についての話が出ましたが、地区大会を勉強会とするか、お祭りにするか、そのどちらにポイントをおくかが大切です。私たちは記念講演会を、地区大会の一つのメインとしたという考えから計画し、講師の方にも人を得たこともあり好評でした。

今回の会場は大きくて音響効果があまりよくなかったという声もありましたが、セレモニーと友愛の広場と懇親会が、いずれも同じ建物の中で開くことができたのは、よかったとおもいます。それはまた、会場にマッチした企画を立てたということでもありました。

いま地区大会のあり方が、どうあるべきか、その転換点にあるとおもうのは、26地区となり各地区の範囲が狭くなり、地区によっては大会開催地が会場の関係で数カ所に限定されること、むかしならめったに行かない土地の地区大会に出てその機会にエキスカージョンを楽しみにしていたのが、それがなくなったので、なにか義務感だけで参加する方が、何割かはいるのではないかと、ということです。それは決して悪いことではありませんが、またホストクラブの負担を軽減する方法など、今回、地区大会を終えてみて、その辺を考えさせられましたね。

□ 最後まで残ってもらう苦労

小原 ひととおりの話をお伺いしましたが、どちらも華美な催しをやめ、手づくりや、それに近い実質面に重点をおいた地区大会にしようという考えのようです。地区大会を計画、立案



齋藤 隆君

するにあたってガバナーの意向が、どの程度、反映されているものでしょうか。

渡辺 私は、大会委員の方々に全部お任せしましたが、結果的に申しあげて、私の考えに大変近い内容になり満足しております。

坂本 そうですね。私のところも、ガバナーの考えとホストクラブの考えと中味はほとんど同じになりましたね。渡辺さんのいわれた、舞台に、しゃべる方しかのせないのは、当地区では前からやっております。

齋藤 私のところでは、その逆で、会場が比較的狭く舞台が大きいこともあって、極力、上に並んでいただくという考えですすめております。

小原 それは、いろいろご事情があるかとおもいますね。費用の点はいかがですか、登録料の問題もあります。さきほど出ました、勉強会にするか、お祭りにするかによっても違ってくるのでしょうか。

福島 なんとといっても、どのくらいの登録数があるかですね。登録料はそれによって決まるわけですが、当地区では、準備期間の段階からお金が出ていかないように、相当、警戒しながらやりまして、大会収支は登録料でじゅうぶん間にあいました。その中には、さきほど申しあげた「新会員部門」で配布したテキスト代も含まれています。

渡辺 地区大会を勉強会にするか、お祭りにするかといえば、これは地区大会本来のあり方として、両方の性格をもつものだと思います。ただし勉強と申しても、知らず知らずのうちにしかも面白おかしくやり、気がついてみたらロ



福島 良治君



坂本 豊美君

ーターリーを勉強してしまった、といったやり方が大切です。

津田 私どもは、神奈川県全体で1地区なんです。エキスカージョンする場所もないのですね。とすると、しぜん勉強会のようなかたちになっていかざるを得ない気がします。

今回の開催にあたっては、私は最初、自由参加でやってほしいという考えでした。そのかわり登録料は若干、高くなってもやむを得ないということで。しかし、やはり全員参加の盛り上がりが必要だ、となり、キャラバン隊をつくったりして、結局、地区4,900人のうち4,200人が登録する状況までいったんです。そうするとキャラバン隊や、事前登録というのは非常に余分な費用がかかるわけです。

ところで、登録料がいくらといっても、地区資金の中でも大会補助費を取っているか、どうかですね。

小原 ホスト、コ・ホストクラブの協力金というのは、登録料以外に取っているところがございませうか。

齋藤 当地区では、地区資金として大会分担金を3,000円、全員参加というかたちで協力しております。そのほかにはありません。

渡辺 私どものところは、新潟市内5つのホスト、コ・ホストクラブだけ全員登録していただき、他にはご迷惑をかけませんでした。とくにホストクラブは奥さん方も登録をしました。事実上大会に参加しない方々まで強制的に参加の登録料をいただくのは、考えものだと思います。

齋藤 255地区は、茨城県と栃木県にまたが



津田 進君

っていますが、茨城県で開く場合は茨城県が全員登録し、栃木県のほうは任意登録になるというのが慣例です。登録しても7~8割しか参加してもらえないようです。

坂本 ぜひ参加してみよう、という地区大会を魅力あるものにするために、その一つになるのが記念講演会ではないかとおもいます。

渡辺 私たちが心を砕いたのは、どうしたら最後の点鐘まで参加者に残っていただけるかでありました。超一流の芸能タレントをもってれば別でしょうが、それでは大変なギャラがかかるわけですし、地区大会本来の目的に反することになると思います。ガバナー自身の行なう記念講演を終わり近くに配置し、しかもその表題を「直面する人類の危機」といった衝撃的なものにしましたので、大多数の方が残って下さると予想しましたが、やっぱり駄目で、半分ぐらいの方々は残りませんでした。

坂本 さきほども述べましたように、私どもは、すべて同じ建物内でやったのですが、セレモニーの会場の隣が懇親会の会場でしたので、あれほどみんなが残った懇親会もめずらしかったですね。ふつうは会場の移動で7割ぐらいになってしまうのですが、その状態が翌日の午後まで持続したかとなると、かならずしもそうではなかったんですけれども。



渡辺 徹一君